

## 国立大学法人福井大学 研究データ管理・公開ポリシー

令和5年7月19日制定  
学 長 裁 定

### (目的)

1. 国立大学法人福井大学（以下「本学」という。）は、本学の存在意義と在り方を表した「格致によりて人と社会の未来を拓く」を理念とし、福井の地より、世界の様々な地域において、そこに集う人と共に、持続可能な社会の実現に向けて、新たな未来を拓くことを目指している。

この理念を実現するための道標として、2040年に向け本学の未来像を具現化するための福大ビジョン2040を策定し、「①福井に根ざした人類知の創出、②世界に通じる研究の推進とイノベーション創出、③若手研究者の育成と実質化」を研究のミッションとしている。

そこで本学は、この理念及びビジョンのもと、研究活動の過程で生み出される研究データを適切に管理・保存し、その公開による利活用を推進することで研究データの価値を継承し、持続可能で豊かな未来社会の発展に貢献することを目的として、研究データの管理、公開及び利活用に関するポリシーを以下のように定める。

### (研究データ)

2. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学の研究活動を通じて収集又は生成されたデータのことをいい、デジタル・非デジタルを問わない。

### (研究者)

3. 本ポリシーにおいて、研究者とは、本学の役員、教職員、学生、受入研究員など、本学における研究に携わる全ての者のことをいう。

### (研究者の役割)

4. 研究者は、収集又は生成した研究データについて、法令、契約及び本学の規程その他これに準ずるものに抵触しない範囲で、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、適切に管理・保存し、可能な限り公開し利活用に供する。

### (大学の役割)

5. 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境を提供する。

### (その他)

6. 本ポリシーは、社会情勢や学術状況等の変化に応じて適宜見直しを行うものとする。